



わかば会通信

社会福祉法人わかば会 特別養護老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅

～繋がる手と手～



56号

■発行
社会福祉法人わかば会

■編集 2022年4月1日発行
広報・レク委員会

わかばでの取り組み紹介

—昨年より池田グループ内の暮らし部門(介護事業部門)では、お客様の生活を栄養の視点からサポートすることを目的に「**WNST**」を立ち上げ活動しています。



わかば
栄養士 鈴木裕子



わかば
歯科衛生士 佐藤包子



わかば会 ウェスト
管理栄養士 菅原和紗



わかば会 イースト
管理栄養士 鈴木愛奈

W
N
S
T

わかば
wakaba
栄養
nutrition
サポート
support
チーム
team

～活動目的～

- ・食事の楽しみを奪うことなく、その方が今持っている力をいかすよう支援します。
- ・食事摂取がスムーズにできるように支援し、低栄養を防ぎます。
- ・各職種間の連携をとり、栄養不良の早期発見・迅速対応をします。
- ・低下した飲み込む力を回復させるための訓練の実施や、やわらかさや形態を調整した飲み込みやすい食事の整備により、飲み込んだ食べ物や唾液が気管から肺へ入ることで起こる肺炎を予防します。

項目	初回評価時点数
①食べる意欲	3
②全身状態	3
③呼吸状態	3.5
④口腔状態	4.5
⑤認知機能(食事中)	4
⑥咀嚼・送り込み	3.5
⑦嚥下	3
⑧姿勢・耐久性	4
⑨食事動作	2.5
⑩活動	3
⑪摂食状況レベル	4
⑫食物形態	4
⑬栄養	2

～口から食べること～

口から食べることで、神経系統を活性化させ認知機能の維持・向上や、唾液の作用により肺炎などの病気の予防につながります。口から食べるということは、身体的にも精神的にも状態を健やかに保つために必要な行為と共に「人としての尊厳」を守ることでもあります。

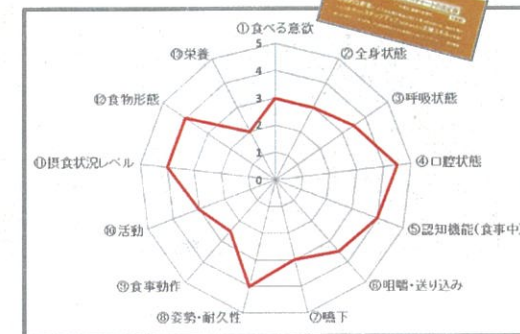
～活動内容～

上の図のようなチェックシートでお客様1人ひとりのバランスを評価させていただきます。

その結果を多職種で共有し、チーム全員でお客様の食べる能力の維持・向上をはかっています。

現在はまだ管理栄養士・歯科衛生士中心の活動ですが、今後は介護職員や看護職員とも更なる連携を図り、また、機能訓練指導員など多職種の職員も交えて、多角的にお客様の健康の維持・増進に努めていきます。

出典：
小山珠美(編集)：口から食べる幸せをサポートする包括的スキルーKT/パランスチャートの活用と支援，第2版。
pp.12-92, 医学書院，2017.





わかば会通信

社会福祉法人わかば会 特別養護老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅

～繋がる手と手～



56号

■発行
社会福祉法人わかば会

■編集 2022年4月1日発行
広報・レク委員会

おでん

サービス付き高齢者向け住宅では
おでんを作って食べていただきました！



誕生会

誕生日のお客様のお祝いをしました。
お誕生日おめでとうございます！良い一年
となりますように♪



おやつレク

桜もち風のどら焼きを作って食べました！
鮮やかなピンク色で春を感じられます♪



上手く焼ける
かしら？



いただきます！



美味しい
です♪

お彼岸にはおはぎを作って食べました！

力いるなあ～！



がんばれ
がんばれ～！



とっても
美味しい♪